

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-198		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	9	脚注	(山さん) 対	生徒にとって理解し難い記号である。 (凡例に照らして理解し難い。)	3-(3)	
2	9	脚注	(山さん) 注	生徒にとって理解し難い記号である。 (凡例に照らして理解し難い。)	3-(3)	
3	9	脚注	(山さん) 読	生徒にとって理解し難い記号である。 (凡例に照らして理解し難い。)	3-(3)	
4	9	脚注	(山さん) 類	生徒にとって理解し難い記号である。 (凡例に照らして理解し難い。)	3-(3)	
5	13	左囲み 3	(山さん くどうれいんの説明) 『桃を煮る人』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
6	246	脚注	(小諸なる古城のほとり) 2 遊子	表記が不統一である。 (本文に照らして不統一。)	3-(4)	
7	252	下中央	(『春琴抄』の図版) 新潮文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
8	334	上5	(最後のドッジボール) 東武伊勢崎線 (振り仮名 とうぶいせざぎ)	誤りである。 (「とうぶいせざぎ」。)	3-(1)	
9	裏見返 5	上囲み	(作家と作品 中島敦) 南洋庁 (第一次世界大戦時、日本が南洋委任統治領を統治するために置いた役所)	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (南洋庁について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 107-200		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	2	下右囲み1	(目次) 「こころ」の世界……巻頭〈2〉	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
2	2	下右囲み2	(目次) 「山月記」の世界……巻頭〈5〉	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
3	48	上15-16	(少年という名前のメカ 課題B 1) 「らしさ」とは何だろうか。具体例をあげて話し合おう。	生徒にとって理解し難い設問である。 (設問の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
4	67	左3	(穂村弘の説明) 『シンジゲート』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
5	95	上1-4	(学びを広げる 象徴について考える) 文学作品は個別の事物について語りながら、時に普遍的な事柄を暗示することによって、読み手の思考を促す。具	生徒にとって理解し難い説明である。 (説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			体的な事物のイメージを通じて観念や理念を表現した象徴を読み解くことは、文学作品を理解するための重要な鍵となる。			
6	96	上中央	(『晩年の子供』) 犬にかまれ、狂犬病による死を意識したことで「晩年」を経験する表題作のほか、思春期にさしかかった少女たちの揺れ動く心を描いた短編集。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
7	96	中右	(『伝奇集』) 鼓直(振り仮名 つづみたかし) 訳	誤記である。	3-(2)	
8	99	上15	(戯曲の中の「対話」) 決定的を違い	誤記である。	3-(2)	
9	102	下10	(平田オリザの説明) 一九八二年(昭和三七)年～。	不正確である。 (「一九八二年」。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検定意見書

受理番号 107-200		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	153	上右囲み	(作者解説 夏目漱石) 大正5(1926)	不正確である。 (「1926」。)	3-(1)	
11	196	中中央	(『優しい語り手』) 「文学は自分以外の存在への優しさの上に建てられている」物語ることの意味、	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
12	233	左3	(絲山秋子の説明) 「イツ・オンリートーク」	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
13	247	9	(吉原幸子の説明) 『現代詩文庫 56 吉原幸子』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	
14	254	上右	(『新編 宮沢賢治詩集』) 天沢退次郎 編	誤記である。	3-(2)	
15	311	上15	(翻訳作品を読み比べる 魯迅「故郷」 竹内好訳) 歩く人が多ければ、それが道になるのだ。	不正確である。 (出典に照らして引用が不正確。)	3-(1)	
16	311	下1-2	(翻訳作品を読み比べる 魯迅「故郷」 藤井省三訳) 彼らが閩土のように苦しみのあまり無感覚になって生きることを望まず、	不正確である。 (出典に照らして引用が不正確。)	3-(1)	
17	312	上1-2	(外国語の小説を翻訳する ルイス・キャロル「不思議の国のアリス」) つい調べたうえで、	脱字である。	3-(2)	
18	313	12-13	(外国語の小説を翻訳する ルイス・キャロル「不思議の国のアリス」 矢川澄子 訳) 何もすることはなし、	不正確である。 (出典に照らして引用が不正確。)	3-(1)	
19	367	上16	(参考 小説文体の変遷 『蒲団』 田山花袋) 『明治文学全集 76』	不正確である。 (書名が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 107-201		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	17	下囲み 3-4	(二十億光年の孤独 学習活動のために) 「(或いはネリリし キルルし ハラ ラしているか)」	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
2	47	上3-4	(参考 近・現代の短歌 春日井建) (高野公彦、一九九一)	生徒にとって理解し難い表現である。 (著者名が理解し難い。)	3-(3)	
3	56	下1-15	(自分のなかに「語り手」をつくる) 書くことは、現実とはまた別の場所 で行われることであって、現実の時間を 再構成することです。 ...	生徒にとって理解し難い説明である。 (説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			書くことは、現実の再構成にほかなら ないからです。			
4	72	下表	(掟の門 成立年代パー) 小説 明治	生徒にとって理解し難い説明である。 (小説の成立年代の示し方が理解し難い。)	3-(3)	
5	89	下9-12	(「物語」は「小説」だけじゃない！) ところが「少年という名前のメカ」で は、「少年」はこれまでのゲームに出 てくるような「少年」とは全く異なる	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「少年という名前のメカ」について誤解する。)	3-(3)	
			行動をとるし、ゲームでは毎回同じ言 葉しか発しないような脇役たちでも自 我をもった存在として描かれている。			
6	101	上5-6	(作品の言葉を受け止める) ベストセラーとなった漫画、椎名軽穂 の『君に届け』は、アニメとしても、 また、実写版としても映画化された。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (『君に届け』について誤解する。)	3-(3)	
7	104	下2-3	(表現プラザ2 想像からの語り) 1 課題例①～③から一つを選び、一 人称で語る文章を書く。 ①「未知へ」の「わたし」の心情を書 いてみよう。	生徒にとって理解し難い指示である。 (「①「未知へ」の「わたし」の心情を書い てみよう。)	3-(3)	
8	105	下1	(表現プラザ2 想像からの語り 「 冬の満月」) 「きっぱりとまんまる」 (3行目、5行目も同。)	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-201		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	124	下右図版	(山椒魚 井伏鱒二の説明 『山椒魚』の図版) 新潮文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
10	141	上10-11	(宮沢トシの「自省録」) 「自省録」は、一九二〇(大正九年)の初め、大学卒業を目前に病氣療養のため故郷の岩手に戻っていたトシが、	生徒が誤解するおそれのある表現である。(「大学卒業」。)	3-(3)	
11	153	下12-13	(参考 近代の文体をたどる 二葉亭四迷「浮雲」(明治二〇年)) 頼も気にし給ふ方々、	不正確である。(出典に照らして引用が不正確。)	3-(1)	
12	185	下注	(参考 『栄花物語』一花山院の出家) ①罪が重い	不正確である。(本文に照らして不正確。)	3-(1)	
13	194		「引用は二〇〇字で」全体	生徒にとって理解し難いコラムである。(コラムの趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
14	294	下右	(ブックガイド 『もののけ日本史』) 『もののけ日本史』	不正確である。(書名が不正確。)	3-(1)	
15	338	上右4	(文章にまとめる方法 企画・提案型小論文) 現代やこれからの社会がどういう方法に進むのかを視野に入れる。	生徒にとって理解し難い表現である。(「方法に進む」。)	3-(3)	
16	338	中囲み3	(文章にまとめる方法 企画・提案型小論文) ・本以外の形態への翻案する(何に?)	生徒にとって理解し難い表現である。(文意が理解し難い。)	3-(3)	
17	339	下7	(文章にまとめる方法 企画・提案型小論文) お互いによいところや改善点を指摘し合い。推敲する。	誤記である。	3-(2)	
18	342	下囲み	(物語・小説読み解きツール) 物語・小説は、作品にはさまざまなしかけが用意され、多様な状況やできごとが入り交じりながら展開していく	生徒にとって理解し難い表現である。(文意が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 107-202		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	23	下囲み	(「広がる読書」『小説への誘い』) 作品の読みどころを三人の編者が熱く語り、なぜ名作として長年にわたって親しまれているのかがよくわかる一冊。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	
2	97	下12	(「萩原朔太郎」の振り仮名) はぎはらさくたろう	不正確である。 (振り仮名が不正確。)	3-(1)	
3	101	脚注	(「語句」) ▼面と向かって	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文に照らして理解し難い。)	3-(3)	
4	109	上5-6	②「そりゃいろいろな人間がいますから。でも、子どもさんはみんな無邪気ですよ。」	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
5	123	下	([作品例]6-12) しかし、夜が更け静寂が訪れると、下人の心には罪悪感が忍び寄った。奪った衣の丁寧な縫い目や、破れを繕われた跡を見ると、彼の心を締めつける。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
			かつての自分を思い出し、正直に生きていた日々が遠い過去のように感じられた。「これで本当によかったのか」と自問自答しながら、「手段を選んでいる暇はない」と言い聞かせて盗みを			
			繰り返したが、やがて、下人は盗みを続けることに耐えられなくなった。			
6	136	左囲み	(「名文案内」3段「静夜思」の訳) 「ノキバノ月をミルニツケ」の「を」	誤記である。	3-(2)	
7	137	囲み	(上1) くらべこし振り分け髪も肩をすぎぬ君 ならずしてたれかあぐべき	不正確である。 (出典に照らして不正確。)	3-(1)	
8	194	下囲み	(「広がる読書」の『美しい日本の私』) ノーベル受賞記念講演	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ノーベル受賞」)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-202		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	241	左囲み	(堀江敏幸の略歴) 「静謐」の「謐」	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の字であるのに読みが示されておらず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
10	276	下囲み	(「広がる読書」の『Yuming Tribute Stories』) 「柚木麻子」の振り仮名「ゆすきあさこ」	誤記である。	3-(2)	
11	329	下4	(324・8)	不正確である。 (行の示し方が不正確。)	3-(1)	
12	358	脚注3	中巻に、天禄元(九七〇)年三月に宮中で賭弓があり、当時一六歳ぐらいの道綱が射手に選ばれた記述がある。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「当時一六歳ぐらいの道綱」。)	3-(3)	
13	367	脚注	(『蜻蛉日記』の注) 藤原道綱母(九三六?一九九五?)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (没年が確定していないかのように誤解する。)	3-(3)	
14	368	脚注	(『日本永代蔵』の注) 一六八六年成立。	不正確である。 (成立年が不正確。)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-203		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	3	8	斎藤陽道 (153ページ下1も同)	不正確である。 (154ページに照らして不正確。)	3-(1)	
2	49	下囲み	(ことのは①「登場人物の言葉」) ・「じゃあ、次さつきちゃん行ってみようか。」	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
3	83	上7	「自分が住むところ」	不正確である。 (引用が不正確。)	3-(1)	
4	221	下5-6	40番と41番の歌は「天徳内裏／歌合（九六〇年）での名勝負で知られる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「天徳内裏／歌合」。)	3-(3)	
5	411	上27	十訓抄〔六波羅二藪左衛門〕	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (十訓抄の編者が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-204		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	204	上7-12	実際、「漱石山房」と呼ばれた早稲田南町の漱石の自宅には、彼の教えを請うため、連日教え子たちが訪れていた。しかし、毎日若者たちの相手をしていては仕事がおろそかになってしまう	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「木曜会」について誤解する。)	3-(3)	
			ことから、訪問者を受け入れるのは、毎週木曜日の午後三時以降と定めた。これが「木曜会」の始まりである。			
2	283	下	(「関連人物」) 特に象徴派の詩人を好み、ボードレールはその代表的作家。	生徒にとって理解し難い表現である。 (係り受けが理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。



## 検 定 意 見 書

受理番号 107-206		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	11	上17- 下4	▼目標…選び抜かれたことばの、洗練されたリズムを味わう 詩のことばは調べと思いを伴い、そのリズムは、思いを人から人へと伝えることができる。詩歌を鑑賞すること	生徒にとって理解し難い説明である。 (「書く」単元の目標として理解し難い。)	3-(3)	
			で、情報や知識だけではなく、心を運ぶことばの働きについて理解を深めよう。			
2	85	下囲み	「読解の窓 マイノリティとマジョリティ」全体	生徒にとって理解し難いコラムである。 (コラムの趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
3	194	下囲み	(「読解の窓 小説の中の人間関係」) それを反映して現代の小説には、互いの距離感への配慮や人間関係へのより繊細な表現が見られるのである。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「現代の小説」について誤解する。)	3-(3)	
4	217	脚問1	「木の葉のように裏と表を翻しながら舞う、ことばという道具」とはどのようなことか。	生徒にとって理解し難い設問である。 (設問の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
5	336	下囲み	(「読解の窓 事実の力——ノンフィクション」) 日本の古典文学にも『平家物語』や『太平記』のように歴史に取材した作品はあったが、それらは主に伝聞に基づ	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (『平家物語』や『太平記』について誤解する。)	3-(3)	
			く物語であった。			
6	350	下囲み	(「読解の窓 美について語ること」) 「日本文化史観」	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-207		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返 ③	上中	(年表型索引(戦後～)) Web動画→p. 4 1 4 谷川俊太郎	不正確である。 (ページの示し方が不正確。)	3-(1)	
2	65	下9-10	(詩の修辞法) 諷諭 一連の展開が別の内容の展開を示す比喩。たとえば。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「諷諭」について誤解する。)	3-(3)	
3	68	上10-11	(島崎藤村 略歴) 馬場孤蝶らと「文学界」を創刊して詩劇や抒情詩を発表。	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (「文学界」について誤解する。)	3-(3)	
4	76	下囲み 11-16	(視覚効果(空白・記号・文字)) また、トシの言葉の中で、(Ora Orade Shitori egumo) は、ローマ字で表記され、他と区別されている。ここでは、トシの発する花巻方言をあえ	生徒にとって理解し難い説明である。 (説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			て世界で通用するアルファベットで表記することで、「わたくし」がその言葉を通常の意味を超えたものとして受け取ったことを表現している。			
5	88	上18-20	(俳句の作り方 ②形式を整える) 「頑張ろう」「悔しい」など、気持ちを表す表現はなるべく直接使わないようにして、どういう状況でそう感じたのか、感情以外の部分を五七または七	生徒にとって理解し難い説明である。 (「感情以外の部分」。)	3-(3)	
			五にまとめてみよう。			
6	137	上右	(牛乳を注ぐ女) 1 6 5 8 年	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (完成年が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)	
7	140	脚注	(花のいざない) 6世阿弥 一三六三一一四四三。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (生没年が確定しているかのように誤解する。)	3-(3)	
8	177	上1-中 4	(小説読解の視点3 小説の型) 「文章の種類と型」全体	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (型について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検定意見書

受理番号 107-207		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	182	脚注	(浪曲) 6「浪花節」の「浪花」	表記の基準によっていない。 (常用漢字表外の訓であるのに読み方が示されておらず、表記の基準によっていない。)	3-(4)	
10	232	上16- 中6	(小説読解の視点4 引用される文化) たとえば、西洋風のファンタジー小説を書こうとするときはどうだろう。私たちはどうしてもファンタジーという	生徒にとって理解し難い説明である。 (「私たちはどうしてもファンタジーというと、ロールプレイングゲームでよく見られるような剣と魔法の世界をイメージして、その世界観のもとで創作してしまう」。)	3-(3)	
			と、ロールプレイングゲームでよく見られるような剣と魔法の世界をイメージして、その世界観のもとで創作してしまう。			
11	232	中10- 下11	(小説読解の視点4 引用される文化) 「テキストとして考える」全体	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (テキストについて誤解する。)	3-(3)	
12	274	中10- 17	(小説読解の視点5 語り手と視点一人称) ミステリー小説は、事件についての見方が食い違う複数の人物や、事件の真相を知らない人物が語り手となるこ	生徒にとって理解し難い説明である。 (説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			とによって成立する。このように、語り手となる人物が違えば、出来事の見え方は大きく変わってくる。これは、小説が持っている大きな特徴の一つである。			
13	274	下10- 17	(小説読解の視点5 語り手と視点一人称) また、『冷たい大根の煮物』は、語り手と周囲にいる人物たちとの間で生じた認識のずれを描いている。「わた	生徒が誤解するおそれのある説明である。 (『冷たい大根の煮物』について誤解する。)	3-(3)	
			し」は「芝山さん」との交流を通じて、周囲の人々が知らない彼女の姿を知る。そして、周囲の人々とは違った立場から「芝山さん」のことを捉えられるようになっていく。			
14	300	中5-7	(小説読解の視点6 物語の舞台設定) はたして平安時代に 「Sentimentalisme」というフランス語はあったのだろうか。	生徒にとって理解し難い表現である。 (文意が理解し難い。)	3-(3)	
15	300	下14- 19	(小説読解の視点6 物語の舞台設定) 私たちはどうしても、誠実な人間が報われてほしいと思ってしまう。だからこそ、「先生」と二人の「学生」が私	生徒にとって理解し難い説明である。 (説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-207		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
			たちとは異なる価値観を持っていることに驚き、物語の世界に引き込まれていく。			
16	459	上囲み 6-11	(近代の文学と翻訳) 小説においては、明治初期に翻訳を媒介に冒険小説や政治小説が書かれ、二葉亭四迷がロシア文学の翻訳を通して言文一致による新たな文体を生み出した。	生徒が誤解するおそれのある説明である。(明治初期の翻訳について誤解する。)	3-(3)	
			し、近代小説の基礎が築かれた。 … ゾラなどの自然主義やボードレール他の象徴主義といった文学思潮も翻訳を通して日本に定着した。			
17	461	上囲み 16-18	(メディアがつくる読み方の変化) メディアにおける文学情報の変化と文学作品の内容の変化、そして文学作品の読み方の変化が、連動して起こったのである。	生徒にとって理解し難い説明である。(「文学作品の内容の変化」。)	3-(3)	
18	463	上囲み 2-6	(「日本」の境界線を問い直す) 近代文学には、帝国主義の暴力と同調する側面がある。「戦後」以降、「在日文学」「植民地文学」「女性文学」「アイヌ文学」「沖縄文学」などの	生徒にとって理解し難い説明である。(説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			呼び方で、マイナー性のある作家や文学が「日本文学」の主流とは異なる、特別で例外的なジャンルであるかのように区分されてきた。			
19	463	上囲み 11-18	(「日本」の境界線を問い直す) これらの歴史を振り返るために、マイナー性のある場所から表現された「日本」を考えることは重要である。 …	生徒にとって理解し難い説明である。(説明の趣旨が理解し難い。)	3-(3)	
			その想像力は、暴力を組み換える可能性を持つはずである。			
20	裏見返 ⑩	上	(参考図録 娯楽 東京・浅草の興行街(大正期)) 初の常設映画館として、1906年(明治39)、浅草電気館が営業を始めた。	生徒が誤解するおそれのある説明である。(浅草電気館について誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

## 検 定 意 見 書

受理番号 107-208		学校 高等学校		教科 国語	種目 文学国語	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	214	上右	(『幸福な食卓』の図版) 講談社文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
2	214	上左	(『静かな爆弾』の図版) 中公文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
3	214	中左	(『パープル・ハイビスカス』の図版) 河出書房新社	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
4	214	下右	(『何でも見てやろう』の図版) 講談社文庫	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。